

委員長の熱烈なる協力を得て、債權會社と交渉し、昨年十二月圓滿解決、船員の給料支拂を完済して所屬船舶を動かせ該兩社の事業を続けられるように處置した。

北九州の一角で、健全なる労働組合を無視し、事毎に反労働組合の方針を持ち傲慢、頑迷を以て鳴る戸畑港の共同漁業會社は日本産業株式會社へ併合以來、この傾向を更に露骨に強化して來たので従業員の不満は刻々に擴大されてゐたが遂に本年十月、日本港湾従業員組合戸畑水産支部は決然立つて共同漁業當局に待遇改善の要求を掲げ、交渉旬日に及んだが、會社當局は益々頑迷にして省みるどころなく、従業員の總意を踏みにじつて却つて反労働組合行動を露骨化したので、港從戸畑水産支部は止むなく停船指令を發し争議を以て應戦した。指令一下！戸畑港に停船するもの五隻、旅順、大連港にも停船續出し、出漁中の船舶も投寄港へ續々入港する形勢となつたので共同漁業當局も流石に狼狽、九州地方協議會加盟團体の全線的應援の職備は完成してゐたが、遂に土田九州地方協議會委員長の熱誠なる斡旋に依つて圓滿なる解決に至つた。

### ▲製鐵所々屬船員待遇改善要求

日本製鐵株式會社八幡製鐵所所屬船舶乗組員の待遇改善に關し、乗組船員が十數項目に亘つて改善要望を決議してゐたので本年六月伊藤書記長は久保田長一郎委員と共に製鐵所當局を訪問し、所屬船舶乗組員の待遇改善要求決議項目の實施に就き海運課長と交渉したところ、該要求決議の内容は製鐵所當局としても充分研究しており、所屬船員の懇談機關に於ても既に主張されてゐるところで、これが實施は當然であると認めてゐるところであるから、當局に於ても可及的速かにこれを實現する準備に努めてゐるとの誠意ある回答を受けたので、伊藤書記長、久保田委員も製鐵所當局の誠意を了として引き揚げた。

以上

## 日本労働組合會議に關する報告

### 日本労働組合會議第三回年度大會決議

日時 昭和九年十月二日 會場 於東京市芝、日本労働會館

- 第一號議案 産業及労働の統制に關する件 (評議員會提出)
- 第二號議案 労働立法即時制定實施に關する件 (評議員會提出)
- 第三號議案 賃銀値上による大衆購買力増進に關する件 (評議員會提出)
- 第四號議案 臨時雇傭制度廢止要求の件 (評議員會提出)
- 第五號議案 軍需品工場統制に關する件 (全國労働組合同盟提出)
- 第六號議案 日本製鐵株式會社經營に關する件 (日本製鐵従業員組合提出)
- 第七號議案 官業に於ける共済組合法人化促進に關する件 (日本製鐵従業員組合提出)
- 第八號議案 全産・聯團體保險反對に關する件 (評議員會提出)